

重点施策マネジメントシート				令和 5 年度事後評価		S		目標値を達成(見込み)					
重点施策	102	子宝育成プロジェクト		主管課	A	基準値より上昇(10%以上)							
基本目標	2	結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり		関係課	B	基準値より上昇(10%未満)							
					C	基準値と同水準(基準値と同値～△10%未満)							
					D	基準値より下落(△10%以上)							
					—	評価不能(KPIの実績値が無い状態)							
(1)施策の目標指標、KPI													
① 目標指標	指標		基準値	⇒	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	⇒	目標値 (～R6)		
	2	合計特殊出生率	1.43 (H29)		1.26 (R1)	1.36 (R2)	1.30 (R3)	1.18 (R4)			1.6		
	3	出生数	396人 (H30)		402人 (R2)	367人 (R3)	334人 (R4)	385人 (R5)			488人		
② K P I	重要業績評価指標(KPI)		基準値	⇒	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	⇒	目標値 (～R6)		
	4	年間婚姻数(出会いの場創出事業) (重2、基7)	10件 (H30)		4件	7件	3件	3件			12件		
	5	乳幼児紙おむつ購入券給付件数 (重2、基7)	857件 (H30)		826件	815件	763件	716件			880件		
	6	家庭教育学級生(小1、中1の保護者)の合同学習会(2回)の参加率 (重2)	46.0% (H30)		17.87%	30.03%	26.82%	37.72%			49.8%		
(2)施策に関する検証													
① 施策に位置付く事務事業の進捗状況					完了 0.0 %		順調 25.0 %		概ね順調 75.0 %		停滞 0.0 %		実施困難 0.0 %
② 施策に位置付く事務事業の成果指標の推移(R4→R5)					向上 44.4 %		好調維持 50.0 %		伸び悩み 0.0 %		低下 5.6 %		
③ 目標指標	指標・関係課名		目標指標の実績値と状況の理由等										
	2	合計特殊出生率	【達成状況:D】 ・旭市1.18(0.12減少)、千葉県1.18(0.03減少)、全国1.26(0.04減少)と減少傾向。合計特殊出生率の基準となる15歳～49歳の女性人口の減少に加え、晩婚化の影響で20歳代の女性の未婚率が上がっていることや、子育てと仕事の両立や経済的な負担を考えると産み控えがあると言われている。また、令和4年度は、まだ新型コロナウイルス感染症の不安の強い時期であり、感染症蔓延による子どもの健康への不安や、社会生活へ不安も強い時期であったことも原因と考えられる。										
		健康づくり課											
	3	出生数	【達成状況:C】 ・令和5年の出生数はやや増加し385人となっている。なお、全国的な出生数は過去最低を記録している。(令和5年度の出生数は348人)										
		健康づくり課											
	④ K P I	KPI・関係課名		KPIの実績値と状況の理由等									
4		年間婚姻数(出会いの場創出事業)(重2、基7)	【達成状況:D】 ・婚姻数は横ばいであり、イベントの開催回数が少なかった年度が続き、イベントきっかけなどで結婚した人が出てくるまでに時間を要すると思われる。令和5年度は飲食を伴うイベントを再開するなど、他団体と合同でイベントを実施することができた。										
		市民生活課											
5		乳幼児紙おむつ購入券給付件数(重2、基7)	【達成状況:D】 ・出生数の減少が大きな要因となり、乳幼児紙おむつ購入券の給付件数は年々減少している。 ・令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなったことから、出生数が前年度より51人増加しており、減少幅が多少緩やかになっている。また、交付対象となる2歳未満の子どもがいる子育て世帯の転入数減少している。 【2歳未満の子どもがいる子育て世帯の転入数】 H30/40世帯、R1/55世帯、R2/46世帯、R3/39世帯、R4/37世帯、R5/33世帯										
		子育て支援課											
	6	家庭教育学級生(小1、中1の保護者)の合同学習会(2回)の参加率(重2)	【達成状況:D】 ・令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなったこと、前年度のアンケートの評判が良かった講師を依頼したこと、参加者が減少する傾向にある2回目の合同学習会の参加率が高かったことにより、前年度より参加率が高くなっている。										
		生涯学習課											

⑤ 施策全体	関係課名	施策の推進に向けた問題等	令和6年度以降の方針
	健康づくり課	・少子化や核家族化による育児イメージの希薄化や実際に育児をする中での孤立感や、インターネットからの育児情報過多により不安を感じる方が増えている印象。その反面相談などでは電話に出てもらえないなど、支援がつながりにくい家庭も増えている。 ・開業の小児科が市内に1か所のみとなっており、第3期こども子育て支援計画策定アンケート等に受診に対する不安の訴えが多く上がってきていることから、安心して子育てができる環境の一つとして、受診や相談のしやすい環境の検討が必要。	・安心して子育てができるよう、支援の始まりである妊娠中の助産師・保健師による相談から関係づくりを行うとともに、乳幼児の子育て期の健診・教室・相談等様々な場面を通して切れ目ない支援を目指していく。 ・小児の病気について、自宅にしながら相談できる「オンライン相談」の導入を検討していく。
	市民生活課	・イベント参加者が固定化する傾向があり、新たな出会いを創出するため、魅力あるイベント内容を協議していく必要がある。	・旭市後継者対策協議会において協議しながら、利用者のアンケートで意見の多い対話型・飲食を伴うもの、市外で実施するなど、参加者の興味を惹くイベントを企画・開催する。市内事業所や近隣自治体へ声掛けし、新たな出会いの場を提供し、婚姻数の増加へとつなげていく。 ・会員の登録期間を定め、イベント参加者の新陳代謝を図る。
	子育て支援課	・乳幼児紙おむつ購入券について、利用時に保護者の記載項目が多い(氏名・生年月日・No.)との意見があったため、券面にあらかじめNo.を印刷し、記載項目を生年月日のみに減らすことで利用しやすいように改善した。 ・出生数の減少により給付件数は減っているが、利用率は高くなっている。	・乳幼児紙おむつ購入券は、出生・転入した対象児童の保護者へ全件配布しており、利用率も高いため継続して実施していく。利用できる店舗も増えており、引き続き周知を図っていく。
	生涯学習課	・家庭教育学級の合同学習会は、依頼した講師により参加率が大きく変わるため、講師の選定が大変重要である。講演会終了後に実施するアンケートにより、参加者ニーズの把握に努めていく。 ・小学校低学年の児童を持つ保護者の中には、子どもを連れて学習会に参加するのが難しいと考えている方もいるため、今後は、預かり等により対応できるよう体制や予算を確保していく必要がある。	・引き続き、家庭教育学級生の合同学習会への積極的な参加につながるような講師の発掘に努めていく。 ・学校の家庭教育学級の学習会では、親の役割や家庭教育についての情報提供だけでなく、保護者同士の交流の場として、運営を支援していく。 ・合同学習会では、参加者の子どもの預かりだけでなく、預かり対象外となる小学生の児童を対象とした講座についても検討していく。
	教育総務課	・旭市私立幼稚園第3子以降保育料等補助金を支給することで、保育料等の無料化による多子世帯の子育ての負担軽減を図ることができた。 ・学校給食費の第3子減免については、県の補助金活用することで、より多くの世帯を対象とした事業を行うことができた。 ・近年の少子化の状況でも、共働き世帯の増加などにより、放課後児童クラブの加入児童数は増加傾向にある。今後数年間は利用児童の増加が見込まれることから、施設の確保(空き教室)や長時間勤務可能な支援員の不足が課題となっており、民間参入等の検討も必要となっている。	・引き続き、多子世帯の負担軽減を図るため、「旭市私立幼稚園第3子以降保育料等補助金」の支給をする。 ・学校給食費無償化に関しては、国、県や近隣市町村の動向を注視する。 ・今後の放課後児童クラブの需要動向を注視し、引き続き施設の確保のため空き教室調査を行い、支援員の勤務体制・時間を見直していく。学校再編に伴う放課後児童クラブの在り方について検討する。

推進委員会からの意見(要旨)
①婚活イベントについて、男性会員は毎回同じ方が多く、女性会員へのアプローチも若い年齢の方に偏る印象がある。最近はおひさまテラスでの婚活イベントを開催することが多いが、やはり女性の参加者が少ない。 ②子育てについて、市外の娘が旭市は結婚から出産までの補助が手厚くていいねと言っていた。もっとPRしたほうが良いと思う。 ③子育て支援について、受けている側としてはとても充実していると思う。すごく住みやすいし、美味しいものはいつでも食べれるし、あとはPRの仕方だと思う。近隣の香取市や銚子が多く取り上げられてる印象。PRとしてテレビや新聞のほか、今はSNSが一番有効で使いやすいと思っているが、テレビや新聞も多くの方が目にするため、旭市が住みやすい場所であることを多くの方に知ってもらいたい。 ④家庭教育学級の参加率について、PTA連絡協議会でもなぜ低いのかと話が出ていた。参加される方の都合がつかない理由が大きいようだが、楽しそうだという意見は出ていた。
推進委員会からの意見に対する担当課の考え
①女性の参加が見込めるよう、イベントの内容を旭市後継者対策協議会で協議していきます。 ②市外へのPRも含め、市ホームページの子育てサイトについて、より情報を見つけやすくするための掲載方法等を検討し内容を充実させるとともに、SNS等を活用した積極的な情報発信を行います。また、市内で子育て中の方へ効果的に情報発信を行うため、妊娠届出時やこどもの健康診査時にLINE登録の呼びかけを強化していきます。 ③市外に住んでいる方に最初に旭市を知っていただく取り組みということで、ロケ地を誘致して旭市を知っていただく取り組みを行っています。旭市を知ってもらうという事のなかで、市のホームページを見ていただく子育て支援に特化したページがあります。結婚前から出産・子育てなど、高校生くらいまでステージ別に紹介していますが、もっとわかりやすく伝わるようリニューアルを考えています。 ④各学校で実施している家庭教育学級の学習会は、家庭教育学級の役員と家庭教育主事が主体となって日程や内容を決めています。市全体で実施する合同学習会については、できるだけ多くの方に参加していただけるよう、5月は土曜、11月は平日に開催するなど、日程や内容を工夫して計画しています。いただいた意見を参考に、より多くの方が参加できるよう学習会を考えていきます。

		事業コード・事業名称			単位	R2決算・ 指標実績	R3決算・ 指標実績	R4決算・ 指標実績	R5決算・ 指標実績	R6予算・ 指標計画				
1	4500	出会いの場創出事業		事業費	千円	1,235	979	793	973	1,500	➡	事務事業の 進捗(R5)		概ね順調
				一般財源		0	0	0	0	0				
	成果指標	ア	イベント(講演会を除く)に参加した人数	人	20	48	118	124	128	成果指標 の推移 (R4→ R5)		ア		向上
		イ	会員で結婚報告があった数	人	4	7	3	3	12			イ		好調維持
2	15700	放課後児童クラブ運営事業		事業費	千円	127,124	144,898	148,821	164,668	201,991	➡	事務事業の 進捗(R5)		概ね順調
				一般財源		30,237	50,086	42,335	51,443	80,235				
	成果指標	ア	放課後児童クラブ加入児童数(月平均)	人数	622	693	715	747	750	成果指標 の推移 (R4→ R5)		ア		向上
		イ										イ		
3	15920	親と子どもの絆プロジェクト事業		事業費	千円	2,314	2,214	2,502	2,200	2,200	➡	事務事業の 進捗(R5)		概ね順調
				一般財源		2,314	2,214	2,502	2,200	2,200				
	成果指標	ア	親と子どもの絆プロジェクト事業を活用して行われた事業数	件	51	45	39	43	43	成果指標 の推移 (R4→ R5)		ア		向上
		イ	事業参加延人数	人	7,142	6,529	5,562	6,548	6,500			イ		向上
4	19060	子育て世代包括支援事業		事業費	千円	4,351	6,732	5,494	6,359	7,958	➡	事務事業の 進捗(R5)		概ね順調
				一般財源		468	1,310	834	919	1,109				
	成果指標	ア	「この地域で、今後も子育てをしていきたいと思う」人の割合 (乳児健診時「そう思う」「どちらかといえばそう思う」人の割合)	%	96.4	96.6	95.0	96.2	96.2	成果指標 の推移 (R4→ R5)		ア		向上
		イ										イ		
5	19200	育児支援事業		事業費	千円	1,128	1,353	1,958	1,822	2,389	➡	事務事業の 進捗(R5)		概ね順調
				一般財源		1,128	1,353	1,958	1,822	2,389				
	成果指標	ア	育児の仲間づくり支援事業延べ参加者数(両親学級、子育て学級、離乳食教室、親子遊び教室、赤ちゃんふれあい体験、育児サークル参加者数)	人	614	690	1,102	1,596	1,353	成果指標 の推移 (R4→ R5)		ア		向上
		イ										イ		

	事業コード・事業名称			単位	R2決算・ 指標実績	R3決算・ 指標実績	R4決算・ 指標実績	R5決算・ 指標実績	R6予算・ 指標計画			
6	39720①	家庭教育活動費(家庭教育学級)(家庭教育相談体制)	事業費	千円	1,344	1,627	1,759	1,889	2,001	事務事業の進捗(R5)		順調
			一般財源		1,344	1,627	1,759	1,889	2,001			
	成果指標	ア	児童・生徒1人当たり家庭教育学級参加回数(延べ参加者数/[小学校1年生児童数+中学校1年生生徒数])	回	1	2	2	2	3	成果指標の推移(R4→R5)	ア	向上
		イ	相談によって悩みや不安が解消された相談者の割合	%	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0		イ	好調維持
7	1793	第3子以降学校給食費の無料化	事業費	千円	8,698	8,983	12,735	24,537	29,209	事務事業の進捗(R5)		概ね順調
			一般財源		8,698	4,071	9,722	12,269	14,605			
	成果指標	ア	第3子無償化対象世帯1世帯あたりの年間軽減額(平均)無償化全額/世帯数	円	40,835	49,629	46,750	51,332	64,908	成果指標の推移(R4→R5)	ア	好調維持
		イ	市内で第3子無償化対象世帯の割合	%	0.8	0.7	1.7	1.8	1.5		イ	好調維持
8	14800	子ども医療費助成事業	事業費	千円	193,084	213,677	208,648	249,436	255,153	事務事業の進捗(R5)		概ね順調
			一般財源		136,137	148,999	148,780	181,832	182,739			
	成果指標	ア	子ども一人あたり医療費負担軽減額(中学3年生まで)	円	22,669	25,892	25,858	31,026	32,577	成果指標の推移(R4→R5)	ア	好調維持
		イ	子ども一人あたり医療費負担軽減額(高校生等)	円	10,447	11,859	12,247	19,282	20,246		イ	好調維持
9	14900	出産祝金支給事業	事業費	千円	25,500	27,000	25,400	28,400	31,000	事務事業の進捗(R5)		順調
			一般財源		25,500	27,000	25,400	28,400	31,000			
	成果指標	ア	第3子出産に係る経済的負担軽減額(出産祝金額)	千円	200	200	200	200	200	成果指標の推移(R4→R5)	ア	好調維持
		イ	第2子出産に係る経済的負担軽減額(出産祝金額)	千円	100	100	100	100	100		イ	好調維持
10	15000	乳幼児紙おむつ給付事業	事業費	千円	28,321	28,858	27,204	27,865	27,975	事務事業の進捗(R5)		概ね順調
			一般財源		28,321	28,858	27,204	27,865	27,975			
	成果指標	ア	紙おむつ購入券の利用枚数	枚	37,686	37,868	36,348	36,806	37,500	成果指標の推移(R4→R5)	ア	好調維持
		イ										
11	15260	幼稚園施設等利用給付事業	事業費	千円	45	204	332	635	714	事務事業の進捗(R5)		順調
			一般財源		45	204	332	635	714			
	成果指標	ア	対象多子世帯1件当たり補助金交付額(決算/交付件数)	円	45,000	40,800	55,300	57,700	64,900	成果指標の推移(R4→R5)	ア	向上
		イ										
12	19330	特定不妊治療費助成事業	事業費	千円	2,930	4,380	2,474	145	100	事務事業の進捗(R5)		概ね順調
			一般財源		2,930	4,380	2,474	145	100			
	成果指標	ア	治療費負担軽減率(助成金額/自己負担総額)	%	28.2	36.3	39.6	22.7	25.0	成果指標の推移(R4→R5)	ア	低下
		イ										